

セラカバーS
[MSDS No:4520-S-b]

製品安全データシート

【製品名】 T/# 4520-S セラカバーS
T/# 4520-S45EL セラカバーS (45エルボ)
T/# 4520-S90EL セラカバーS (90エルボ)

1. 化学物質等及び会社情報

【製品情報】

製品名：上記製品名を参照
用途：厨房排気ダクト用防火材
概要：耐熱無機繊維を基材とし、耐熱バインダーで円筒状に成形したカバーの表面に外皮材としてアルミガラスクロスを接着剤で被覆加工したもの。

【製造者情報】

会社名：ニチアス株式会社
所在地：東京都港区芝大門1丁目1番26号
担当部門：技術本部環境管理室

電話番号：
FAX：
緊急連絡先：技術本部環境管理室

【販売者情報】

会社名：ニチアス株式会社
連絡先：技術本部環境管理室

2. 組成, 成分情報

単一製品、混合物：混合物
化学名：

	CAS 番号	官報公示 整理番号	含有量(%)	安衛法 ¹⁾ 通知 対象物	PRTR法 ²⁾	
					第一種	第二種
耐熱ロックウール	なし	対象外	90-100 ^{注)}	313	非該当	非該当
ガラス長繊維	65997-17-3	該当なし		非該当	非該当	非該当

1) 労働安全衛生法 2) 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
注) 基材中の含有量 (外皮材を除く)

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：切断時等に発生する粉じんが眼、皮膚などに触れたとき刺激を受けることがある。
粉じんを長期にわたり多量に吸入したとき、呼吸器への影響を生じるおそれがある。
特定の危険有害性：特になし。

4. 応急措置

眼に入った場合：異物感がなくなるまで清水で洗浄する。眼をこすってはならない。
皮膚についた場合：付着した部分を石鹼水で洗浄し、やや熱めの温湯で洗い流す。
外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

不燃性なので、火災時の措置は特にはない。ただし、本製品が高温にさらされた場合は、本製品に含まれる数%のメラミン樹脂またはその変性物が熱分解を起こし、有害なガスが発生する可能性があるため、火災時にはそれらを吸入しないように極力風上に逃げることを。

6. 漏出時の措置

本製品は固体なので、本項目は適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い上の注意]

本製品は切断などの加工をしない限り、特に注意することはない。

切断等の加工を行う場合には、下記の点に注意すること。

- ・切断等の加工は、カッターナイフ等の手動の工具で行う。
- ・粉じんの発散防止のため、屋内の取扱い作業場には局所排気装置等の対策を講じること。
- ・粉じんの発散を防止することができない場合には、防じんマスクを着用すること。
- ・必要に応じて、防じん眼鏡、保護手袋を着用すること。

取扱い後は、うがい及び手洗いを励行する。

[使用時の注意]

本製品には数%のメラミン樹脂またはその変性物が含まれているので、取付後、初期加熱時 175℃以上の高温にさらされると、条件によってはアセトン、フェノール、N, N'-ジメチルホルムアミド等が微量発生する可能性があるため、必ず換気を行うこと。

[保管上の注意]

水濡れに注意する以外、特になし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度：

	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会 2003	ACGIH 2003
ロックウール (参考)	2.9 mg/m ³ ^{R)}	2 mg/m ³ ^{R)}	1 f/cc ^{F)}
ガラス長繊維	2.9 mg/m ³ ^{R)}	2 mg/m ³ ^{R)}	1 f/cc ^{F)}

R) 鉱物性の吸入性粉じんとして F) 長さ 5μm以上、アスペクト比 (長さ/直径) 3 : 1 以上の吸入性繊維

保護具：

防じんマスク

作業環境中の濃度が、上記の基準を超えるおそれのある場合は、防じんマスクを着用する。

防じんマスクの型式は、国家検定の取替式防じんマスク、使い捨て式防じんマスクがあり、濃度が高い場合は取替式防じんマスクを、濃度が比較的低い場合は使い捨て式防じんマスクを推奨する。いずれにしても顔面への密着の状態には特に留意し、フィルタの点検と交換などの保守管理を適切に行う。

保護眼鏡

必要に応じて、ゴーグル、サイドシール付き保護眼鏡など作業に適した保護具を使用する。

手袋・作業衣

手袋、長袖の作業衣など作業に適したものを使用し、皮膚が露出しないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	： 固体、円筒状
色	： シルバーグレー
かさ密度	： 140±20 kg/m ³
繊維径	： ロックウール 7 μm以下 (平均径)
引火点	： 非引火性

セラカバー S
[MSDS No:4520-S-b]

発火点 : なし

10. 安定性及び反応性

安定

11. 有害性情報

[製品の情報]

- 眼に入った場合 : 物理的な刺激作用がある。
- 皮膚についた場合 : かゆみや紅斑を生じることがあるが、一過性で慢性の障害を生じることはないとされている。
- 吸入した場合 : 急性毒性はないが、切断加工時に発生する粉じん中に吸入性粉じん及び繊維が含まれるので、長期間にわたり大量に吸入すると呼吸器系障害（じん肺）を生じる可能性がある。
- 誤飲した場合 : 特になし

[成分の情報]

・ロックウールの情報（参考）

- 刺激性 : 直接接触時に物理的的刺激があるが、毒性はない。
- 慢性作用 : 発生する粉じん中に吸入性繊維が含まれるので、長期間にわたり大量に吸入すると呼吸器系障害（じん肺）を生じるおそれと考えられる。しかし、現在において、セラミックファイバーの取扱いにおいて、これに起因した障害が発生したことは報告されていない。
- ガン原性 : IARC グループ 3（ヒトに対する発がん性については分類できない）
EC カテゴリー 3（発がん性があるかもしれない）

・ガラス長繊維の情報

- 刺激性 : 直接接触時に物理的的刺激があるが、毒性はない。
- 発がん性 : IARC グループ 3（ヒトに対する発がん性については分類できない）

12. 環境影響情報

生態影響についてはデータなし。

13. 廃棄上の注意

本製品から発生する廃棄物は、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”に基づく廃棄物の分類の“ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず”に該当するので、通常の産業廃棄物として取扱って差し支えはない。

14. 輸送上の注意

危険性はないが、輸送中の包装の破損などによって粉じんが飛散しないように注意する。
国連分類 : なし 国連番号 : なし

15. 適用法令

[切断などの加工を行う場合]

労働安全衛生法	通知対象物(313 人造鉱物繊維)
粉じん障害防止規則	適用 ^{注)}
消防法	適用なし
危険物船舶運送及び貯蔵規則	適用なし
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	適用なし

セラカバーS
[MSDS No:4520-S-b]

注) 本製品は、じん肺法、粉じん障害防止規則（粉じん則）において「鉱物」に該当し、次の作業を行う場合はじん肺法、粉じん則の適用を受ける。

- ① 鉱物（本製品）を裁断し、彫り、または仕上げする場所における作業（粉じん則別表1の6号）
- ② 鉱物（本製品）を動力により破碎し、粉碎しまたはふるいわける場所における作業（粉じん則別表1の8号）

なお、平成5年1月1日付基発第1号労働省通達により「ガラス繊維及びロックウールの労働衛生に関する指針」が示されており、これに基づき、「ロックウールの労働衛生に関するマニュアル」を作成したので、この内容を遵守すること。

[加工済み製品取扱いの場合（切断加工がない場合）]

上記法律の適用なし

（本製品は労働安全衛生法 通知対象物を含有するが、「労働者による取扱いの過程において固体以外の状態にならず、かつ、粉状又は粒状にならない製品」は法の適用除外となっており、本製品はこれに該当するので、MSDS発行の適用除外となる。）

16. その他の情報

[改訂情報]

改訂年月日	改訂番号	内容
04/03/25	b	JIS 様式、PRTR 法に準拠するよう改訂した。

[参考文献]

- 1) IARC : Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans Vol. 81 (2002), "Man-made Vitreous fibres"
- 2) 中央労働災害防止協会：健康保健クライテリア 77「人造鉱物繊維」
- 3) 硝子繊維協会（GFA と略す）、セラミックファイバー工業会（RCFA と略す）、日本石綿協会、ロックウール工業会（RWA と略す）：「鉱物繊維および合成繊維の使用における安全」
- 4) GFA、RCFA、RWA：「人造鉱物繊維（MMMF）繊維数濃度測定マニュアル」（1992）
- 5) RCFA：「アルミナ-シリカ系セラミックファイバーの取扱いに関する労働衛生マニュアル」（1995）
- 6) RCFA：「セラミックファイバー取扱い」（1995）
- 7) RCFA：「セラミックファイバー取扱い作業者の手引」（1996）
- 8) 中央労働災害防止協会：石綿代替繊維とその生体影響（1996）
- 9) ECFIA：「Code of Practice Working with Refractory ceramic fibres」（1998）
- 10) RCFC：「Working Safety with Refractory ceramic fiber product」
- 11) RCFA：「セラミックファイバーの環境関係の手引」（1999）
- 12) ILO「Code of practice on safety in the use of synthetic vitreous fibre insulation wools(glass wool, rock wool, slag wool)」（2000）
- 13) 14504 の化学商品：化学工業日報社発行(2003)
- 14) 産業医学 第45号 第4号：(社)日本産業衛生学会(2004)
- 15) ACGIH 2003 Chemical Substances Threshold Limit Value (2003)

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。